

# 平成26年産米集荷状況および検査結果について

福井県の26年産水稻の作況指数は98の「やや不良」と発表されましたが8月中の日照時間が平年の半分となり、登熟不良になったことで生産現場においては公表以上に少ない収穫量となっているのが現状です。

10月30日現在の集荷状況は、111,704俵（前年対比91.7%）となり、その内訳については倉前で58,185.5俵、カントリー・ライスセンターで34,086俵、良質米出荷施設で19,432俵となりました。

## ◎平成26年産米集荷状況

平成26年10月31日現在(単位:俵, kg) (加工用米・備蓄用米・輸出用米・規格外除く)

地区名	品種名		コシヒカリ		あきさかり		日本晴		イクヒカリ		もち米		その他品種		合計	
	ハナエチゼン															
武生	145	18	570	8											715	26
神山第一	944	19	928	53	225	31	287	8							2,385	51
神山	1,180	17	1,248	56	816	0	382	0	86	30	70	0	125	11	3,908	54
吉野	3,331	56	3,018	1	483	10	1,382	2	13	0	42	30	498		8,768	39
大虫	2,906	53	3,295	28	504	0	1,120	48	287	0	20	30	212	30	8,347	9
白山	2,880	51	4,931	32	232	23					63	0	493	50	8,601	36
坂口	1,831	7	1,623	57	220	30					7	30			3,683	4
国高	4,008	0	2,598	36	478	6	2,263	7	50	30	114	30	67		9,579	49
北新庄	2,782	6	5,816	22	758	59	3,326	48			75	0	364	10	13,123	25
北日野	4,348	58	4,827	57	220	30	1,365	21	63	30	72	30	18		10,916	46
味真野	1,694	14	4,030	36	140	29	1,026	49			36	30	144	30	7,073	8
王子保	2,504	44	5,842	20	997	45	1,108	31			55	30	254	4	10,762	54
南条	3,412	19	8,257	32	201	15	2,035	51			160	0			14,066	57
今庄	3,854	29	5,098	55	552	25	39	10			86	0	140	14	9,771	13
河野	53	30														
合計	35,879	1	52,089	13	5,831	5	14,337	35	500	30	803	30	2,317	29	111,704	51

□上記、加工用米・輸出用米・規格外・一般米を除く。

本年のコシヒカリの作柄については、出穂期以降20日間が平温となり、品質面では近年問題となっている白未熟粒の発生が少なく、整粒歩合は極めて高くなっており上位等級比率は93.8%（前年58.3%）と大幅に品質が改善されました。しかし一部の田植え時期が早かった圃場では、出穂期以降の高温により白未熟粒が多く発生しました。

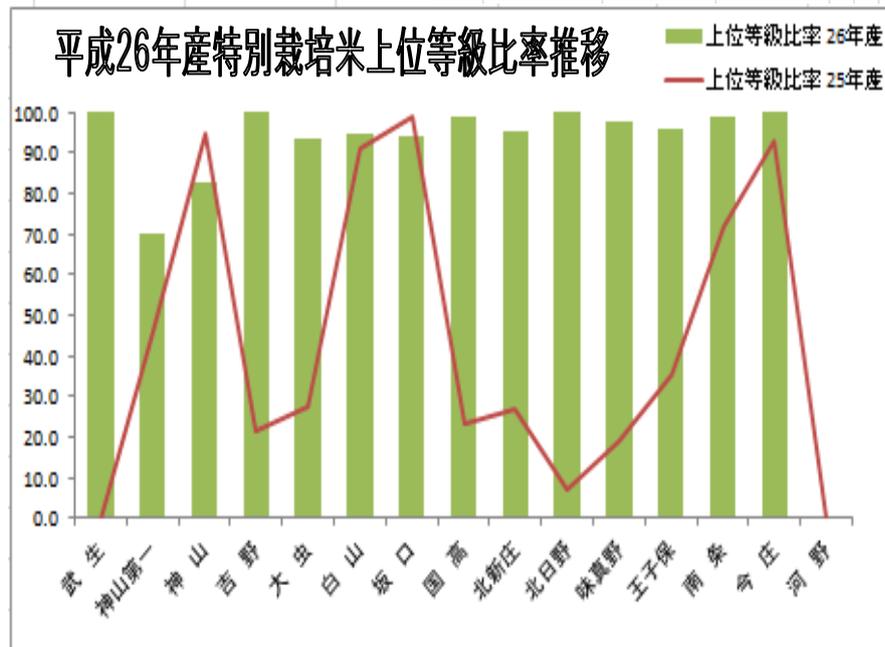
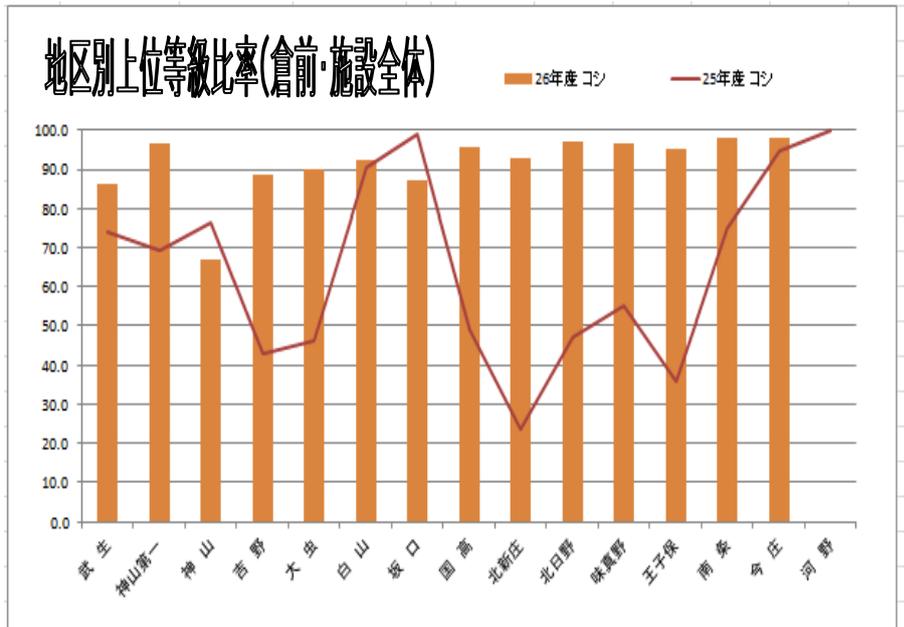
ハナエチゼンについては、例年にない乳白粒による格落ちが見られたものの、上位等級比率は



86.6%（前年91.3%）となりました。

特別栽培のコシヒカリは、4月から3回の研修会を行い6月と8月に栽培記録簿の書類審査と圃場の肥培管理状況を2回ずつ審査し、7月には作見会として生産者を集め、管内の生育調査圃場10ヶ所を巡回しました。

9月には適期収穫、出荷方法に向けた研修会を開催し、上位等級比率は慣行栽培を上回る96.7%（前年48.4%）となり、12月には、今年の米の品質及び収



穫までの生育状況又、次年度へ向けた栽培技術の研修会を行います。日本晴は、栄養成長期の生育は順調であったものの、出穂期から開花期となった8月10日に台風11号が通過し、風害による褐変病が局地的に発生したことで、茶米等による品質や収量の低下がみられ、上位等級比率は86.3%となりました。



作見会での栽培講習会



圃場審査（肥培管理審査）